

対人関係を考える～アタッチメントとアディクション、そして発達障害

*当財団(講座)は「臨床心理士」資格取得者の研修機会として、(公財)日本臨床心理士資格認定協会より「短期型研修会(ワークショップ)」の承認を受けております。＜承認期間:2022年7月2日～2027年7月1日 承認番号:20210392＞
なお、本講座は2ポイント(予定)となります。

期 日: 2024年1月24日(水)・1月27日(土)のいずれかのご希望日

※ご希望日を必ず受講希望日欄にご記入・ご入力ください

受講対象: 教育・医療・相談・福祉・保育の各機関・現場で、子どもに関わる専門家および興味のある方々

申込期限: 2024年1月16日(火) (お申込みは先着順となりますが、期限前に募集を終了する場合がございます)

受講料: 7,500円(税込)

配信方法: 『Cisco Webex』を使用し、配信 ※事前承認制です

本講座は事前にビデオ収録し、当日オンラインで配信する講座です

主 催: 公益財団法人 明治安田こころの健康財団 TEL 03-3986-7021

東京都豊島区高田3-19-10

*** 出講講師 ***

田中 康雄 先生: こころとそだちのクリニック むすびめ 院長

工藤 晋平 先生: 名古屋大学学生支援本部アビリティ 支援センター 准教授

小林 桜児 先生: 神奈川県立精神医療センター 副院長兼医療局長

2023年は、発達障害を視野に入れながらも、対人関係の樹立について検討したいと思いました。

そこでまずアタッチメントについて、信頼障害について、多くのかたに学ぶ機会を提供できればと思い、工藤晋平先生と小林桜児先生にご講演をお願いしました。

昨年僕は工藤晋平先生のご著書「支援のための臨床的アタッチメント論」を読ませていただき、さらに大阪のオンラインセミナーで学ぶ機会をいただきました。わかっていたようで、実はきちんと理解できていなかった「アタッチメント」について、是非多くの方にも学ぶ機会をと思った次第です。

小林桜児先生は以前にもこの講座をお願いしたのですが、コロナ禍で中止になってしまい、今回は満を持して登壇いただきました。先生のご著書「人を信じられない病 信頼障害としてのアディクション」は、まさに僕にとって目から鱗の本でした。日々の僕の臨床でも、市販薬濫用、ゲームや SNS への耽溺、直接的な対人関係から疎遠になりながら、孤立感や寂寥感、過剰適応、拒否の出来なさ、人を信頼できないなどに苦しむ方々と出会います。満たされない心の隙間をアディクションで埋めようとする適応行動が、不適切な行動へ転化する。そんな方々との出会いのなかで、小林桜児先生の信頼障害は、実は当事者たちがもっとも共感できる概念ではないかと思っています。

人としての有り様に必要なアタッチメント、なんとか生き延びようとする彼らにある信頼したいのに出来ない苦悩。

今回はこの2つを目玉に、僕もちょっとそこに関与しながら生活障害としての発達障害について話そうと思います。よろしくお願いします。

【企画講師: 田中 康雄】

【プログラム】

※時間割・テーマ等が変更となる場合があります。予めご了承ください。

各 日	時 間	テ ー マ	講 師 (敬称略)
	10:20頃～	オンライン講座の事前案内	
	10:30～10:40	当企画の意図	田中 康雄
	10:40～12:10	アタッチメントの視点からみた発達支援について	工藤 晋平
	12:10～13:10	休 憩	
	13:10～14:40	信頼障害の視点からアディクション支援を考える	小林 桜児
	14:50～16:20	「発達障害」をどう捉えるか	田中 康雄
	16:30～16:50	まとめ	田中 康雄

オンライン講座申込み時の注意事項

あらかじめ下記の注意事項をご確認・ご了承の上、
お申込みいただきますようお願いいたします。

- 本講座は、「Cisco Webex」を用いて実施するオンライン講座です。

講座への参加、講義資料のダウンロードは PC 環境での実施を推奨しております。

なお、当財団では講座開催中の「Cisco Webex」や PC 環境・機器等に関するお問い合わせへは対応しておりません。

- 講座受講にあたり、インターネット環境（Wi-Fi 等）・PC 等の機器環境は受講者の責任においてご準備ください。ご自身の PC 等機器環境、インターネット回線の障害等による講座参加上のトラブルにつきましては、当財団では責任を負いかねます。

- 講義資料につきましては、講座開催日の 1～2 週間前をめぐにダウンロード用 URL をお送りいたします。各自ダウンロードの上、ご受講ください。

本資料・本 URL の使用は本講座受講者に限ります。URL を第三者へ共有すること、資料の二次利用は固くお断りいたします。これらの行為が発覚次第、著作権・肖像権侵害として対処させていただくことがございます。

- 本講座の撮影、録画、録音は禁止します。